

センターだより 第16号
令和3年12月16日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規実施項目のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、外部委託先の株式会社エスアールエルより、新たな検査項目の受託開始について案内がありましたので下記の通りお知らせいたします。

該当する検査項目をご依頼いただく際はご確認くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

記

■ 実施日 2021年12月20日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

検査項目・コード JLAC10	採血量 (mL)	容器	提出温度	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
鳥特異的IgG抗体 (FEIA) 2543500 (5811) 5A110-2331-023-023-00	採血量 2.0	生化学 茶色 A	室温	3~9	873 ※6	FEIA	陰性 判定基準: 裏面参照 (mgA/L)	

※6：免疫学的検査判断料

※鳥特異的IgG抗体の判定基準

両方またはいずれか一方の測定値がカットオフ値（セキセイインコ：8.00mgA/L、ハト：24.0mgA/L）以上となった場合を陽性と判定し、両方がカットオフ値未満の場合を陰性と判定いたします。

● 鳥特異的IgG抗体

過敏性肺炎のうち、鳥類由来抗原を原因とする鳥関連過敏性肺炎の診断補助に有用です。

過敏性肺炎は、特定の抗原に継続的に曝露することによって発症するアレルギー性間質性肺炎の一種であり、曝露する抗原の濃度、曝露及び感作発症までの期間や症状により急性・慢性に分類されます。

鳥関連過敏性肺炎は慢性過敏性肺炎の約6割を占めており、鳥類由来の抗原（羽毛、糞便など）への曝露を原因とする疾患です。

本疾患では症状の改善及び予後への影響から原因抗原の除去が重要視されており、本項目はセキセイインコとハトの抗体を同時に測定することで、原因抗原の特定による診断補助に用いられます。

本項目では、セキセイインコIgGとハトIgG両方の抗体を測定し、いずれか一方または両方が陽性の場合に陽性として判定を報告いたします。

▼検査要項

検査項目名	鳥特異的IgG抗体 (FEIA)
項目コード	親：2543500 (5811) 鳥特異的IgG抗体 (FEIA) 子1：2543501 (5812) 判定 子2：2543502 (5813) セキセイインコIgG (FEIA) 子3：2543503 (5814) ハトIgG (FEIA)
採血量	採決量 2.0 (血清 0.5 mL)
容器	生化学 茶色 A
提出温度	室温
所要日数	3~9
検査方法	FEIA
基準値	陰性 判定基準：下記参照
報告内容 (単位)	判定 : 陽性または陰性 セキセイインコIgG : 2.00未満、2.00~99900000 (mg _A /L) ハトIgG : 2.00未満、2.00~99900000 (mg _A /L)
桁数	セキセイインコIgG : 有効3桁、整数8桁、小数2桁 ハトIgG : 有効3桁、整数8桁、小数2桁
検査実施料	873点* (「DO12」感染症免疫学的検査「52」抗トリコスポロン・アサヒ抗体の所定点数を準用して算定)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	

*検査実施料に関わる留意事項

診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として、EIA法により、鳥特異的IgG抗体を測定した場合は、本区分の「52」抗トリコスポロン・アサヒ抗体の所定点数を準用して算定する。

なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

※鳥特異的IgG抗体の判定基準

両方またはいずれか一方の測定値がカットオフ値（セキセイインコ：8.00mg_A/L、ハト：24.0mg_A/L）以上となった場合を陽性と判定し、両方がカットオフ値未満の場合を陰性と判定いたします。

	セキセイインコ IgG	ハトIgG	判定
カットオフ	8.00(mg _A /L)	24.0(mg _A /L)	
結果	(+)	(+)	陽性
	(+)	(-)	
	(-)	(+)	
	(-)	(-)	

●参考文献

中山 哲, 他: 細胞45 (12) : 577~580, 2013. (臨床的意義参考文献)